

オーシャニアクルーズ期待の新造船アリューラ フィンカンティエリ造船所(イタリア、ジェノヴァ)で進水



東京 2024年7月19日 - 美食と寄港地の魅力を追求し世界を牽引するオーシャニアクルーズが建設中の1,200人乗りアリューラが、重要な節目となる日を迎え、イタリアのジェノヴァ港に近いセストリポネンテにあるフィンカンティエリ造船所で祝杯が挙げられました。建設行程の中でも一番重要な進水の瞬間を迎えた船は、乾ドックから浮かび上がり、艤装工事のための碇泊場に移されました。これからデザイナー設計による贅を尽くした内装工事が始まります。

フィンカンティエリ会長のジェネラルクラウディオ・グラツィアーノ将軍の逝去から間もないことに配慮して控えめに行われたセレモニーでは、造船所専属聖職者ステファノ神父が船を祝福しました。続いてアリューラの造船所代母、カテリーナ・ロメオ(フィンカンティエリ社技術部門デザイナー)が伝統にのっとり命名式を行い、船と船に乗るすべての人を祝福しました。

オーシャニアクルーズ社長フランク・A・デル・リオは、「グラツィアーノ将軍の逝去を悼み、フィンカンティエリの全チームと心を一つにしています」と弔辞を述べたうえで、「この進水は、オーシャニアクルーズとフィンカンティエリ社の全員にとって、アリューラが私たちのファミリーに加わるという重要な瞬間です。船殻工事の終了に続いてインテリア工事がはじまることにワクワクしています。ブランド8隻目の客船となるアリューラには、サービスをさらに高める楽しみな改良が多く施されており、オーシャニアクルーズが唯一のウルトラプレミアムのクルーズブランドであることを確固たるものにしていきます」と語っています。

OCEANIA CRUISES®

アリューラはデビューに向かって着々と準備を整えています。今は豪華なスイートルーム、洗練のラウンジ、一流レストランを中心に建設は最終段階に入っていて、すべてはオーシャニアクルーズの卓越した料理と寄港地での没入体験を体現するものです。アリューラは、洗練されたデザインと革新的なサービスの最高傑作であり、クルーズ業界に新たな指標をもたらすものです。

アリューラは 2025 年 7 月 18 日にイタリアのトリエステ発で正式に就航し、ギリシャのアテネまで 6 泊クルーズを行います。寄港地はクロアチアのリエカ、イタリアのラヴェンナ、クロアチアのドブロブニク、モンテネグロのコトルなど東地中海の珠玉の都市。地中海での夏のシーズンを終えたアリューラはカナダとニューイングランドに向かい、北米での一連のクルーズを経て、マイアミを母港にカリブ海で初の冬シーズンを迎えます。初就航コレクションの中には、9 月にニューヨーク発着、希少企画となる 4 泊クルーズも予定されています。

アリューラはオーシャニアクルーズ保有船としては 8 隻目、そのうちのアリューラクラスとしては 2 隻目となる乗客 1,200 名収容の客船です。世界的に大好評を博し 2023 年 5 月に姉妹船ビスタに続く船となります。

アリューラのハイライト:

- 初の船上クレープリー。オーダーを受けてから作る焼き立てクレープとワッフル。午後にはアイスクリームサンデーも
- 豪華新ライブラリーは床から天井までガラス張りで、ゆったりサイズの椅子や豪華なくつろげる家具類を配置。船のデジタル&ソーシャルハブである LYNC デジタルセンターと大人気のホライズンズに隣接
- 10 名の乗客に対して 1 名のシェフ。乗員の 50%が食関連の職務に従事
- 5 か所のスペシャリティダイニング。オーシャニアの最新シグネチャーレストランであるエンバーとアクアマールキッチンも追加料金なし
- 1200 名の乗客の接客にあたるのが 800 名の乗員。つまり 3 名の乗客ごとに 2 名の乗員洋上でもっともゆとりあるスタンダードステートルームの広さは 27 平方メートル
- 各クルーズで選べる数百に及ぶ充実の寄港地観光とツアー
- オーシャニアクルーズの人気スポット・アーティストロフトでのアートクラス、多数のゲストスピーカーによる講演、ソムリエやセラーマスターが選んだワインペアリングでのランチとソムリエのデモンストレーションなど、充実した船内アクティビティ
- 広々とした実践型カリナリーセンターと併設のシェフズスタジオでは、才能豊かな船上シェフがインストラクターとして美食の秘訣を伝授



オーシャニアクルーズの豪華小型船、絶品の料理、考え抜かれた旅行体験の詳細については <https://jp.oceaniacruises.com> で。

オーシャニアクルーズについて

オーシャニアクルーズは洋上最高の料理と寄港地の魅力を追求する世界屈指のクルーズラインです。最大乗客定員 1,250 名、全 8 隻のラグジュアリーな小型客船が洋上最高の料理と地球規模の豊富な寄港地体験を提供しています。優れたデザイン性とくつろぎに満ちた客船による考え抜かれた旅行体験で、7 大陸 100 か国以上の 600 を超える主要港から小さな港までを 7 泊から 200 泊余りをかけて巡ります。2027 年と 2028 年または 2029 年[1]の引き渡し予定で 2 隻の船を発注済み。オーシャニアクルーズはノルウェー・ジャンクルーズライン・ホールディングス (NYSE: NCLH) の完全子会社です。詳細は www.nclhltd.com

[1] オーシャニアクルーズ 2 隻目の引渡しは、契約上は 2028 年第 4 四半期に予定されていますが、2029 年に延期される可能性もあります。

画像提供はオーシャニアクルーズ

【発行元】オーシャニアクルーズ PR 株式会社フレア